



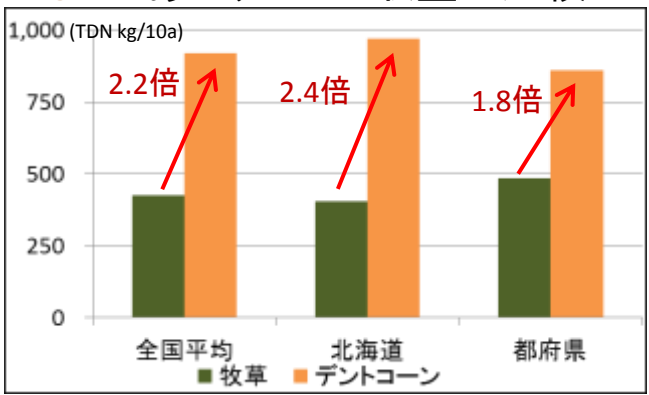
いまこそ！ ゾウさん 飼料増産

いまこそ！みんなで飼料ゾウさん！ Vol. 1

トウモロコシ

デントコーンをで〜んと作るゾウ！

●10aあたりのTDN収量の比較



- デントコーン(青刈りトウモロコシ)の面積あたりのTDN収量は、牧草のおよそ2倍です。※
- コーンサイレージ1kgは、配合飼料1kgの2~3割(重量)の栄養価があり、配合飼料を減らすことも出来ます。

今度はコーンを作ってみるゾウ！



ミルク大好き「みるゾウ」さん

※ H23作物統計の単位面積あたりの収量にTDN含量(牧草:12%、デントコーン:18%)を乗じて推定

草地更新

草地をリフレッシュするゾウ！

●牧草地を使い続けていると、普通は次第に収量が減ってきます。草地更新により、収量が35%アップした例もありますので、定期的な草地更新を心がけましょう。

1ヘクタールの草地の35%収量ゾウは、輸入乾草約12万円分に相当するゾウ！※



牧草大好き「まめゾウ」さん



注: 単収をグラフのとおり、輸入乾草価格を50円/kgとした場合の試算

使っていない水田を活用するゾウ！



青刈りえん麦

●青刈りえん麦を1^{ha}栽培した場合そのTDN収量は、輸入乾草約10トン(≒50万円)に相当します。*1

水田活用してえん麦をマンモス作るゾウ！



田んぼ大好き「いねゾウ」さん

●また、水田で飼料作物を生産すると3.5万円、イタリアンや青刈りえん麦の二毛作をすると1.5万円、水田放牧など耕畜連携に取り組むと1.3万円の助成があります。*2



水田放牧

*1: えん麦の収量を31.5トン/ha、輸入乾草を50円/kgとした場合の試算

*2: 水田活用の直接支払交付金における反あたりの助成金額(概算要求中)

放牧すると牛の管理がラクダ！



優良事例

みんなで飼料増産に取り組むゾウ！

●3戸集まって汎用型飼料収穫機を共同購入し、デントコーンや稲ホールクロップサイレージ(WCS)などの収穫に活用しています(S市)。

●地域協議会が各農家の牧草地について雑草状況や土壌分析を実施し、草地更新の提案や施肥設計を行って、所有している牧草地改善のための指導を行っています(N町)。

●地元の農協が裏作予定のない水田農家と畜産農家の希望をとりもち、地域のコントラクターに牧草の播種と収穫を委託して粗飼料を確保しました(H村)。



汎用型飼料収穫機



コントラクターによる収穫

いまこそ！みんなで飼料ゾウさん！

お問い合わせ先

〇〇県〇〇課 〇〇係 電話 〇〇-〇〇-〇〇〇〇

